

追手門学院大学スポーツ研究センター

NO. 6
2018.3

スポーツ研究センターニューズレター

「Bリーグの今後と東京オリンピックに向けて」

大河 正明 氏 基調講演・パネルディスカッションの報告



1. 日 時 2018年3月19日(月)
2. 会 場 追手門学院大学 学生会館大ホール
3. 参加対象 一般、在学生、教職員
4. 参加者数 192名
5. 主 催 者 追手門学院大学スポーツ研究センター
6. 後 援 茨木市
7. 詳 細

【基調講演】

- ・講演者 大河 正明氏
公益社団法人ジャパン・プロフェッショナル・
バスケットボールリーグ チェアマン
- ・テーマ 「Bリーグの今後と
～東京オリンピックに向けて～」

【パネルディスカッション】

- ・パネリスト
安井直樹氏／大阪エヴェッサ代表取締役
木下博之氏／大阪エヴェッサ選手
辻中祐子氏／毎日新聞社 運動部 副部長
- ・コーディネーター
巽樹理（基盤教育機構講師・
スポーツ研究センター副センター長）

**【基調講演】**

2016年9月に開幕され、いま注目を集めているバスケットボールBリーグについて、まさに現場で改革を進めている大河正明氏のお話は、とても説得力があり、一般人でも分かりやすく解釈できる内容でした。

講演時間60分の中では、ニュースでも話題となっていたトップリーグの分裂を始め、国際バスケット連盟であるFIBAからの制裁（①JBAのガバナンス改革、②2リーグ並存状況の解消、③男子日本代表チームの強化）Bリーグの誕生と今後の展望について、時系列に沿ってお話いただきました。

中でも、今後の男子日本代表チームに対して「2024年のオリンピックには、自力でバスケットボール男子日本チームの出場権を獲得する！」と意気込んでおられ、強化の具体策まで提示してくださいました。

- ① 世界に通用する選手やチームの輩出

- ② 技術委員長の招聘
- ③ ユース世代の育成
- ④ 指導者の育成
- ⑤ 審判のレベルアップ
- ⑥ 選手の強化
- ⑦ 日本代表HCの招聘
- ⑧ 海外に進出する日本人選手

以上のように、強化策を挙げられましたが、男子日本代表選手のための強化ではなく、選手を取り巻くスタッフであるコーチや技術委員、そして審判員や次世代のユース選手の強化も含め、一過性に留まらない持続可能な強化体制作りを構築されているBリーグに、今後益々の期待が高まりました。

【シンポジウム】

同じBリーグのテーマではありましたが、様々な立場（選手・組織のトップ、メディア）から現場の生の声を伺いました。各自、過去のご経歴や現況などの自己紹介をして頂いた後、Bリーグ開催前後における変化（環境や運営、メディアの露出度など）や、今後Bリーグを盛り上げていくための展望など、熱く語って頂きました。中でも印象に残っていることは、毎日新聞社の辻中氏より、メディアをうまく活用している地方のプロチームの事例紹介や、メディア戦略（取材や記事を待つのではなく、積極的に発信していく旨）の助言など頂き、大阪エヴェッサの安井社長もメモを取りながら真剣な眼差しで聞き入っていました。また、Bリーグの今後の展望として、現役選手である木下選手は、観ていて面白い試合を追求したいとのこと。外国人は派手なプレーで場を盛り上げることが多いが、日本人もプレーで更に盛り上げ、「次の試合も足を運びたい!」「一生懸命戦っている選手の姿を見て感動した!」と思ってもらえるような、魅力あるBリーグの試合にしていきたいと熱い思いを語って頂きました。それぞれの立場ではありましたが、Bリーグを盛り上げるために、メディア、組織、選手と一体となり、今後ますます飛躍するであろうBリーグについて熱く語り合えたことは、非常に有意義な時間を過ごすことができたと思います。

（報告：巽 樹理）



アーティスティックスイミング ワールドシリーズ2018 第1戦フレンチオープン2018報告

スポーツ研究センター客員研究員
中牧 佳南

1. 日 程 3月9日～11日
2. 場 所 フランス・パリ
3. 参 加 国 20カ国
4. 競技結果

| | | |
|-----------------|--|----|
| ソロテクニカル | | |
| (乾 友紀子) | | 2位 |
| ソロフリー | | |
| (乾 友紀子) | | 3位 |
| デュエットテクニカル | | |
| (乾 友紀子・中牧 佳南) | | 3位 |
| デュエットフリー | | |
| (乾 友紀子・中牧 佳南) | | 3位 |
| ミックスデュエット テクニカル | | |
| (安部 篤史・足立 夢実) | | 2位 |
| ミックスデュエット フリー | | |
| (安部 篤史・足立 夢実) | | 3位 |



この度、アーティスティックスイミングワールドシリーズ2018第1戦フレンチオープン2018に出場致しました。出場させていただいた種目の結果は、デュエットテクニカル3位、フリー3位でした。

今回のフレンチオープン大会は、2018年初めての国際大会であり、シンクロナイズドスイミングの名称から、アーティスティックスイミングに変わった大会でもありました。また、ルール改正後、初めての大会でもあり、各国の上がり状況や日本の位置付けなどを見極める貴重な大会でした。さらに、昨年の世界選手権から、新しく演技内容も変わり、デュエットテクニカルは「忍者」、

デュエットフリーは「タイムリープ」をテーマに泳ぎました。結果はどちらも3位で、悔しい結果となりましたが、新たな課題も見付き、今大会の経験を活かし今後の大会に臨みたいと思います。

次は、4月27日～30日に東京辰巳国際水泳場で行われる、ワールドシリーズ第3戦ジャパンオープンに出場します(以下詳細)。ジャパンオープンでは、今よりもレベルアップし、上達の実感が持てるような演技になるよう日々の練習に臨みたいと思います。

◆日 程

4月27日(金) 午後1時開始=ソロ・チーム各TR
4月28日(土) 午前10時開始=デュエット・混合デュエット各TR、ソロFR予選、ハイライトルーティン
4月29日(日) 午前10時開始=デュエットFR予選、混合デュエットFR、チームFR
4月30日(月・祝) 午前9時30分開始=オープニングセレモニー、フリーコンビネーション、ソロ・デュエット各FR決勝。
(注) TRはテクニカルルーティン、FRはフリールーティン。開始時間は予定

◆会 場

東京辰巳国際水泳場(東京メトロ辰巳駅)

◆料 金

4日間通し指定席=1万8000円(びお限定販売)
指定席=55500円(27日のみ特別割引4000円)
同S=4000円
自由席=2000円

アーティスティックスイミングジャパンオープン詳細
(大会HPより)



アーティスティックスイミングジャパンオープン2018
大会ポスター(右が中牧佳南選手)

2017年度セミナー

第2回 「バドミントン」

講師：植野 恵美子 氏（追手門学院大学 非常勤講師（体育実技））

日時：2017年11月18日(土) 10：00～12：00 会場：追手門学院大学体育館 第1体育室 参加人数：27名



本学の非常勤講師（体育実技）である植野恵美子先生に、小学生にバドミントンセミナーを開講していただきました。植野先生は、1975年・1976年に全日本総合選手権ダブルス優勝、1977年全英オープン選手権ダブルス優勝など、国内外ともに活躍されました。

小学生27名が4班に分かれ、植野先生から説明があった楽しい課題に取り組んでいました。シャトルが上手く飛ばせる子どもやなかなか上手く飛ばせない子ども

など、いろいろな技術の子どもたちがいましたが、バドミントンの基本をみんな一生懸命取り組んでいました。

本セミナーをお手伝いしてくれた大学生による試合観戦では、その迫力に子どもたちは大歓声をあげていました。終了後は参加して、「楽しかった」「もっとやりたい」等、積極的な意見が多くあり子どもたちにとっても成果のあったセミナーだったと思います。

(報告：辰本 頼弘)



2017年度セミナー

第3回 「運動・スポーツをする人のための栄養学」

講師：津吉 哲士 氏（追手門学院大学 非常勤講師， 関西福祉科学大学 健康福祉学部 福祉栄養学科講師）

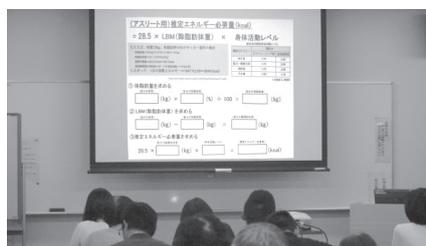
日時：2018年2月24日(土) 12:30～14:00 場所：茨木市立生涯学習センター きらめき（学習室405・406） 参加者：50名超（定員締切）

今回のセミナーは、茨木市と共同主催し、茨木市と本学の連携講座として開催しました。また、NPO茨木市体育協会と少年野球を中心とした茨木市スポーツ少年団の後援をいただき、多くの参加者にお越しいただきました。関係者も含めると、当日の会場では座席が足らなくなる程でした。現在、スポーツや学校の現場で選手の指導に関わっておられる方、選手・マネージャー、スポーツ選手のご家族、ご自身の実践に役立てるために参加された方など、スポーツ栄養学への学習意欲の高い方々に多くご参集いただきました。

津吉先生からは、はじめにスポーツ現場での栄養サ

ポートの重要性や事例に関するお話をいただき、その後、レジメに基づいて、アスリート向けの具体的な栄養アセスメント方法について、事例毎にわかりやすく解説をいただきました。特に、身体を大きくしたり、減量したりする際のカロリー摂取と消費についての計算方法は、参加者の皆さんの実践にすぐに応用できそうでした。セミナー後、津吉先生は、3・4名の参加者の皆さんからの質問に30分以上かけて、丁寧に回答をしておられました。栄養への関心が高く、栄養講座へのニーズの高さをあらためて感じたセミナーとなりました。

(報告：松井 健)



茨木市老人クラブ連合会 NS1（ニュースポーツ）スキルアップ研修会の報告

2017年11月10日(金)に、本学体育館にて、茨木市老人クラブ連合会のメンバーを対象とした研修会を開催しました。当日は、16名の皆さんが参加し、講義と実技で楽しく学んでおられました。第1部は、本学のはつらつ運動サークルにサポートをいただいている、倉藤先生（香川大学）の講義で、健康寿命を延ばし、認知症を予防するためのわかりやすいお話をいただきました。第2部では、本学チアリーダー部の山川さんと高山さんにエアロビックダンスの実技指導をいただきました。第3部では、松井がボッチャの歴史と戦略に関する講義を行い、後半には皆さんに実際のゲームを通して講義内容の実践をしていただきました。頭と身体をたっぷり使った3時

間で、参加者の皆さんにしっかりスキルアップしていただけだと思います。

<プログラム>

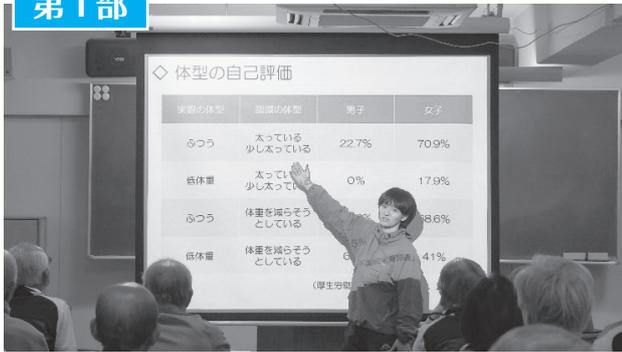
第1部 9:00～10:00 講師：倉藤利早
「健康寿命」（講義）・認知症予防トレーニング（実技）

第2部 10:00～10:40
講師：高山あか理・山川はる菜
「エアロビクス」（実技）

第3部 10:50～12:00 講師：松井健
「ボッチャの歴史と戦略」（講義）・ボッチャ（実技）

（報告：松井 健）

第1部



第2部



第3部



シニアバスケットボール大会の報告

毎年恒例の大阪女性バスケットボール連盟主催の「尾崎杯」が2017年12月3日(日)に開催されました。この「尾崎杯」は地域連携を図ったイベントで1989年4月から連盟として立ち上げてから29年の歴史を積み上げてこられた歴史があり、「追手門会場」としては5年目となります。

本年度は20チーム・249名が参加し14試合が行われました。今回も幅広い年齢層で下は24歳から上は68歳の方々が参加されていました。また、大阪府バスケットボール協会からトレーナーが派遣され故障者に対する

ブースが設置されており、テーピングやマッサージ等のケアがされていました。(報告：千葉 英史)



第1回 ボッチャ交流大会の報告

茨木市主催の第1回ボッチャ交流大会が開催されました。日時と場所などは次の通りです。

日 程：2017年12月16日(土) 9：30～12：00
(試合は10：00から約90分間)

場 所：茨木市立市民体育館

参加人数：約60名 チーム数：18チーム

主 催：茨木市 市民文化局スポーツ推進課

共 催：追手門学院大学・茨木市生涯スポーツディレクター協議会・茨木市老人クラブ連合会・茨木市スポーツ推進委員協議会

地域スポーツクラブや各地区の自治会、サークルなどから、合計18チーム(1チーム3名)が大会に参加して熱戦を繰り広げました。本学で活動を行っている

ボッチャ健康サークルからは3チームが出場し、見事、2位(安威C)、3位(安威A)、7位(安威B)を獲得!日頃の練習

の成果を存分に発揮され、大活躍でした。今回は僅差で優勝を逃しましたが、来年に向けて良い目標ができました。当日は、福岡洋一茨木市長にもお越しいただき、ボッチャの楽しさと奥深さを体験していただきました。参加者の皆さんがボッチャのゲームを通して楽しく交流され、とても和やかで、充実した大会となりました。

(報告：松井 健)



おうてもんジュニアキャンパス2018冬

1. 日 時 2018年2月17日(土)
午前の部 10:00~12:00
午後の部 13:15~15:15
2. 会 場 追手門学院大学(体育館、グラウンド等)
3. 参加教室 12教室
 - ・アーチェリー教室
 - ・サッカー教室(女子)
 - ・少林寺拳法教室
 - ・野球教室
 - ・ラグビー教室
 - ・豆腐作り教室
 - ・ポッチャ教室
 - ・剣道教室
 - ・サッカー教室(男子)
 - ・体力づくり教室
 - ・テニス教室
 - ・フラッグフット教室
4. 参加人数 204名(延べ人数)
5. 主 催 追手門学院大学
6. 後 援 茨木市、茨木市教育委員会
7. 協 力 追手門学院大学学生会追風
追手門学院中・高等学校

「おうてもんジュニアキャンパス」は小学生に大学の部活動を体験してもらう行事です。小学生には将来を考

えるきっかけにしてもらうこと、大学生には地域活動を体験してもらうことを目的としています。

今回、開講した12教室には410名の申込みがあり、抽選の結果204名の児童がそれぞれアーチェリーや少林寺拳法、フラッグフット、豆腐作りなど希望の教室に参加しました。

「剣道教室」では全国大会の出場者もいる強豪の剣道部が、初心者から経験者まで参加者の習熟度に合わせて丁寧に指導していました。初めて竹刀を持つ小学生の真剣な顔つきが印象的でした。

また「ラグビー教室」では人工芝のグラウンドいっぱい、小学生と大学生が一緒になってボールを追いかけていました。

時間の関係上、全ての教室を見学はできませんでしたが、開催中、それぞれの会場からは明るい声が聞こえてきました。

教室終了後は希望者に追手門学院中学校の見学もしてもらいました。

この行事は毎年夏と冬に開催。2017年度は茨木市の「いばらき・大学連携事業補助金」に採択され、補助金の交付を受けるなど成長を続けています。また次回、キャンパス内が子どもたちの笑顔であふれることを楽しみにしています。

(報告：研究・社会連携課 石田 弘樹)



第8回追手門学院大学杯 茨木市スポーツ少年団軟式野球大会

開催日程：2018年1月13日(土)、20日(土)

開催場所：東雲運動広場、福井運動広場

本大会は追手門学院大学と茨木市スポーツ少年団との共催のもと開催する、地域スポーツ振興事業です。今年度で第8回を迎える歴史のある大会として、茨木市内の野球少年に根付いています。今年度は夏から続いた悪天候の影響で、残念ながら例年とは異なる学外での開催となりました。

大会は茨木市内3ブロックの予選を勝ち抜いた6チームによる、トーナメントで争われました。当日は天候にも恵まれ、1月の厳しい寒さの中でしたがご父兄の方々の熱い応援のもと熱戦が繰り広げられました。また、今

大会では開会式に川原理事長・学長が出席され、開会式でのご挨拶と第1試合には始球式が行われました。

今年度は日程の都合で硬式野球部による少年野球教室を開催することはできませんでしたが、大会関係者からは次年度はぜひ開催してほしいとの声も聞かれ、大学による地域貢献への期待が感じられました。

大会の結果は以下の通りです。

優勝 郡山フレンズ

準優勝 玉島アニマルズwithP

第3位 中條ウイングス

第4位 沢池レッドナイト

(報告：中西 宏)



センターからのお知らせ

- ・2018年度も月に2回(第2・第4火曜)、ポッチャ健康サークルの活動を行います。場所は、大学体育館1階第3体育室、時間は朝の8:00~9:00です。地域の皆さんと教職員・学生の皆さんが、体力レベルに関係なく、一緒にスポーツを楽しめる良い機会ですので、ぜひ、ご参加下さい。
- ・2018年度のセミナーについて、お呼びしたい講師の先生、ご希望の内容等がございましたら、センターまでご一報下さい。5月頃までに確定します。
- ・各スポーツ系クラブの地域交流を積極的にサポートします。子ども、高齢者、その他の年齢層を対象とした教室や大会などを企画・運営してみたいクラブは、センターまでご相談ください。ジュニアキャンパス冬のスポーツ教室(小学生対象)がたいへん好評で、定期的な教室の開催を望む声も多く寄せられています。
- ・スポーツボランティアの募集
センターで実施している、様々なスポーツ関連事業をサポートしていただけるボランティア(どなたでも)を募集しています。地域連携イベント(セミナー等)、サークル活動、研究活動などにぜひ、皆様のお力添えをいただければと思います。

追手門学院大学 スポーツ研究センターニュースレター No.6

◆ 編集・発行 2018年3月26日 印刷
2018年3月30日 発行

◆ 編集代表者 松井 健

◆ 印刷所 川西軽印刷株式会社

◆ 発行所 追手門学院大学 スポーツ研究センター
〒567-8502 茨木市西安威2-1-15

電話 072(641)9690 / FAX 072(641)9695

E-mail sports@otemon.ac.jp

<https://www.otemon.ac.jp/research/labo/csr.html>